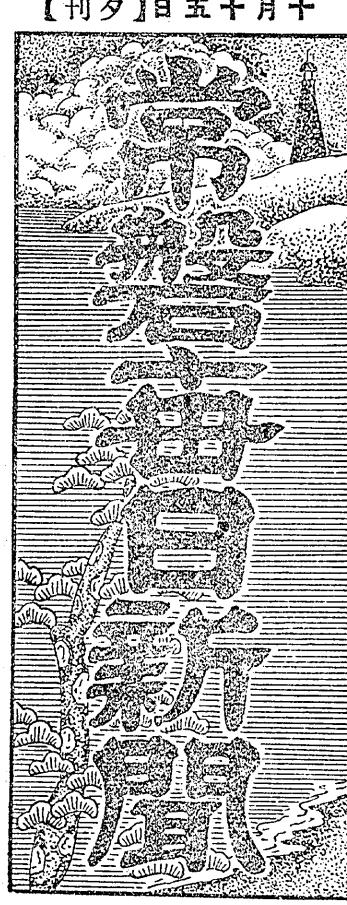


凋落の兆しを怖れて死物  
狂ひにその城塞を固守する  
文語歌一派の論陣には往年  
の島木赤彦氏に代ふる人も  
なければそれを支持する大  
衆もなくその日を同  
事異言で糊塗してゆく惨状  
である。既に一部からは隱  
遁者と呼ばれ時代物と見做  
されていさゝかの生彩をも  
見出し得ないのである、と  
言つて之を悲しむ者もなく  
寧ろそれは喜ばれてゐるそ  
れより早く多分の時代性を  
胚胎した新らしい短歌が各  
種各様に發達して來た爲め  
その統制統一が眼前の焦務  
であつて、現實社會に一日  
も早く有意義な存在を示さ  
ねばならなくなつてきてゐ  
るから、隠居臭い文句に耳  
を藉してゐる暇がないのであ  
る、斯うした短歌過程にあ  
つて私は片寄耿二氏の口語  
歌をよんだのである。甚だ  
横道に入つてゐたがこれか  
ら筆を戻して同氏の短歌を

片寄耿二氏の口語歌をよむ  
白木英尾  
【刊夕】日五十月十常磐新聞  
（下）  
私見的みてゆかう。  
『夕陽』最初のを擧げてみる  
山蔭の草屋の窓に日暮れ  
がた鈍い陽射しがやつと  
とゞいた  
西村陽吉氏等の所謂口語歌  
運動が之れである、一つ書き改へてみるとかうなる  
山蔭の草屋の窓に夕暮れ  
て鍔き光りは今とゞきけ  
り

後者は誰がみても文語歌であるし内容も前者と變らない。それでも尙前者を特に書いたが他の三聯のどれま  
寂しいではないか、次に同氏『秋に入る』一聯は前にも書いたが私のは餘りに  
口語歌と呼ぶのには餘りに  
も無くてよいではなから  
うか。換言すればこの歌は  
もつと簡潔にしてもその短歌價値に變化がないといふ  
事だ。何んでもかんでも卅  
音律を嚴守しなければならないといふ囚習的觀念が反つて一首の緊張味を殺ぐ所以  
となる。『秋刀魚やく家』豊間の海二聯も大同小異

（説明書呈）



厘五税郵錢十五月一錢貳金部一  
厘十五行一詰字三十號五  
料皆廣  
日翌ノ日祝祭大曜日  
文治川人刷印人轉寫兼行發  
五三町長平郡都城石縣島福  
番○三六話電社聞新日每磐常所行發

（二首は、とにかく之を前にてある）  
山蔭の草屋……」に比較  
の二首は、とにかく之を前にてある  
てある  
の木の緑がみんな上向い  
えの秋空が素的だ草がの  
びてゐる  
の「山蔭の草屋」

鰹節と  
磐城土産  
鹽から  
蒲鉾  
さつまあげ  
吉原あげ  
鋤  
平町壹丁目  
藤  
寅  
折詰仕出し  
電話一四一番  
愈々蒲鉾の期節が到來しましたので例年通り製造販賣を開始致しましたから從來同様御覲負に預り度く願上げます

蒲鉾製造販賣開始  
精幸堂時計店眼鏡部へ  
◎國產特等毛糸  
壹オース 金拾參錢  
教育玩具 雜貨問屋 森下商店  
天高く  
氣朗かに  
美味芳醇の  
サロンの黒ビール  
秋  
サロンの黒ビール  
天高く  
氣朗かに  
美味芳醇の  
サロンの黒ビールを召せ  
シロサ  
番二五三電町田

醫學博士名推奨  
專賣  
胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症  
肥り度い人の福音 热なく痕つ  
かず無煙式 誰にも出来る理想的  
家庭治療器

常に信用と責任ある良品廉賣  
今や人氣の焦點なる  
七印 理想のメガネは  
精幸堂時計店眼鏡部へ  
平町土橋通り  
（商號豆屋）

## 上水道擴張工事の 用地買収纏る

**近く登記を踏む  
豫算面より少額**

平町上水道擴張工事の用地  
買収は好間村の地主が平町  
の足許を見て居る爲め折衝  
困難と目されて居たが左記  
五名の委員

猪狩庄平、柳下元吉、千  
葉彥治、大森勇、櫻井清  
諸氏協力の結果地主側との  
買收價格交渉纏り近く登記  
を踏む段取りに迄漕ぎ付  
けた、買收價格は田地千二  
二百坪五千四百五十圓、畑  
地三百坪三百圓、合計五千

## 農産物品評会

**五年目に一度宛  
廿日頃訓練盲院で**

**併せて稻増收品評會も**

平町農會には来る廿日頃  
を期して好間、平塙、神谷  
夏井、草野、飯野、鹿島、  
湯本の一町八ヶ村と聯合し  
農產品評會を開く

ある右の品評會は五年目  
に一回開催の豫定で本年  
は三回目に當るべく會場は  
盤城訓盲院とその校庭を利用

の農會長及び技術員等が半  
日午後一時から各町村  
の農會長及び技術員等が半  
日午後一時から各町村  
の農會長及び技術員等が半  
日午後一時から各町村  
の農會長及び技術員等が半

## 白米値下げ

**又もや**

平町農會にては来る廿日頃  
用し米穀、蔬菜、桑細工其  
他出品點數五百點を超す  
る見込みであり審査長には  
青田郡農會技師が推舉され  
る等であるが此の催しと  
重ね俺れが身受けをしてや  
るとして百圓の郵便通帳をト  
メノに預けて信用せしめ其  
後數回に亘り五六十圓の飲  
食代を支拂はせ一方江名郵  
便局に至り先きの通帳を紛  
失したとて新通帳の交附を  
受け貯金額をスッカリ拂下  
げて仕舞つたが女は漸く此  
頃に至つて感づき始めて驅  
除された事が解りけふ平  
署に詐欺の告訴を提起した

此帳簿へ署名せよとの事で  
した、叔父は早速私の書い  
てやつた通りに署名を致し  
ました其時には先輩者が三  
名程遊びがてらに行つて來  
られたので言葉の方は少しも  
なかつたのです、私は居  
中で叔父が署名して居る  
間に先輩者に私の事を何が  
聞いて居りましたが今度は  
君にも選舉券をや

持つて居るかと重ねて聞き  
ました、ありますと又答へ  
るとそれでは  
完全に選舉券を落

手する一人となれたのであ  
ります、伯國では満二ヶ年  
以上一つ處に居つて土地を  
所有し男子出生に依つて始  
めて選舉の権利を得る政治  
になつて居るのですが前申  
上げた様な事に依つて有力  
者が勝手氣まゝの所置も公然に取  
つて居るので、カクメイ派  
を防ぐ手段かも知れません  
が兎に角く面白い國です

町會議事室に參集協議を遂  
げる筈

平署本日現在

二通である、尙ほ昨年同日  
の五十九通に比較すると十  
一通の減少であるが今後も  
届出が續出するから結局大  
差ないと見られて居る

**櫻樹保存運動**

新川畔の  
組合の新川改修工事が進行  
すると同川畔の櫻堤を失ふ  
爲め是れが保存に關し組合  
に於ける櫻樹を抱擁  
護に努めその成果を樂しみ  
つゝ今日に至れるものに  
して等繁の桟枝を抱擁  
せん連樹は長蛇の如く蜒  
々十數町に亘り然も枝梢  
に蓋らるゝ一刷の淡は艶は艶  
姿を描いて流れに反映する  
情説實に形容に辭なく縣  
婉然一軸の彩畫の如く縣  
下に燎爛を誇る松ヶ岡公  
園の櫻樹と相呼應して平  
町の風致は一層その雅趣  
を高めこれがため遠く枝  
を曳いて訪ぶる花客織る  
が如きものあり洵に平町  
永遠を惟ふ時等閑し得ざ  
る唯二無二の櫻樹たり今  
後多いて益々これを警護  
培養に努力せば之れが遠  
因となり平町繁榮發達は  
實に當然の歸趨たる今更  
言を俟たざるべし然るに  
我々三萬町民に執りて最  
も必須缺へからざるこの  
櫻樹を改修工事に依り永  
久にこの美姿を没せしむ

となり耕地整理委員全消  
防組員在郷軍人分會等諸  
氏奔走盡力したる結果永  
遠に忘るべからざる日露  
戰記念に最も關係深き  
凱旋軍人の手に依り植樹  
せし好個の記念木にして  
爾來町民は協力これが警  
護に努めその成木を樂し  
みつゝ今日に至れるもの  
にして等繁の桟枝を抱擁  
ケル市は長蛇の如く蜒  
々十數町に亘り然も枝梢  
に蓋らるゝ一刷の淡は艶は艶  
姿を描いて流れに反映する  
情説實に形容に辭なく縣  
婉然一軸の彩畫の如く縣  
下に燎爛を誇る松ヶ岡公  
園の櫻樹と相呼應して平  
町の風致は一層その雅趣  
を高めこれがため遠く枝  
を曳いて訪ぶる花客織る  
が如きものあり洵に平町  
永遠を惟ふ時等閑し得ざ  
る唯二無二の櫻樹たり今  
後多いて益々これを警護  
培養に努力せば之れが遠  
因となり平町繁榮發達は  
實に當然の歸趨たる今更  
言を俟たざるべし然るに  
我々三萬町民に執りて最  
も必須缺へからざるこの  
櫻樹を改修工事に依り永  
久にこの美姿を没せしむ

るの日近きにあるを知る  
ると俱に誠に平町に於  
ける一大恨事と言はず  
して何ぞ然かも洪水氾濫の  
原因は川堤に不非して夏  
井川河水の停滞逆流に基  
因するに聞くに及んでは  
我々町民として一層該  
修工事的是非に對し深  
い考慮を痛感するもの  
に於ける櫻樹を保護  
一考を促す次第なり希く  
り依て茲に有志一同連署  
して左記陳情書を提出した  
と

## 百圓の郵便通帳で

**女をだます**

### 新手の智能犯罪 酌婦怒つて告訴

五日から左記の如く一キロ  
一錢宛の値下げを発表した

石城郡内郷村大字御臺境字 鬼越久野朝次(二)は昨年九 月から同郡江名濱の金夕方 に鰐節削りに雇はれ申同問 字北町料理屋佐藤半造方の 酌婦木幡トメノと馴染みを 並白米 中白米 田糯米 陆糯白 捣麥 同 十五錢	一キロ二十錢 廿錢五厘 十九錢五厘
---	-------------------------

▲陳情書  
平町を東西に流れる新川  
堤は年々洪水氾濫に遭ひ  
沿堤に添ふ水由を始め附  
近一帯延ては平町全町に  
亘る被害甚大を極むるた  
め該被害を防遏せんとし  
て上は内郷村地内より下  
は月見町新川町下流に至  
るまで既に一部の改修を  
終りその中間十數町の改  
修は今後二三年内に着工  
企劃中にありと聞く、こ  
れがため沿堤の櫻樹はそ  
の大半伐採の運命に逢着  
し平町美觀の一として歴  
史ある櫻樹の倒れ再び觀  
るを得ざるを待たずとす  
聊も同川沿堤の櫻樹は町  
三郎、加澤忠治氏等主唱

▲陳情書  
平町を東西に流れる新川  
堤は年々洪水氾濫に遭ひ  
沿堤に添ふ水由を始め附  
近一帯延ては平町全町に  
亘る被害甚大を極むるた  
め該被害を防遏せんとし  
て上は内郷村地内より下  
は月見町新川町下流に至  
るまで既に一部の改修を  
終りその中間十數町の改  
修は今後二三年内に着工  
企劃中にありと聞く、こ  
れがため沿堤の櫻樹はそ  
の大半伐採の運命に逢着  
し平町美觀の一として歴  
史ある櫻樹の倒れ再び觀  
るを得ざるを待たずとす  
聊も同川沿堤の櫻樹は町  
三郎、加澤忠治氏等主唱

新川畔の  
組合の新川改修工事が進行  
すると同川畔の櫻堤を失ふ  
爲め是れが保存に關し組合  
に於ける櫻樹を抱擁  
護に努めその成木を樂し  
みつゝ今日に至れるもの  
にして等繁の桟枝を抱擁  
ケル市は長蛇の如く蜒  
々十數町に亘り然も枝梢  
に蓋らるゝ一刷の淡は艶は艶  
姿を描いて流れに反映する  
情説實に形容に辭なく縣  
婉然一軸の彩畫の如く縣  
下に燎爛を誇る松ヶ岡公  
園の櫻樹と相呼應して平  
町の風致は一層その雅趣  
を高めこれがため遠く枝  
を曳いて訪ぶる花客織る  
が如きものあり洵に平町  
永遠を惟ふ時等閑し得ざ  
る唯二無二の櫻樹たり今  
後多いて益々これを警護  
培養に努力せば之れが遠  
因となり平町繁榮發達は  
實に當然の歸趨たる今更  
言を俟たざるべし然るに  
我々三萬町民に執りて最  
も必須缺へからざるこの  
櫻樹を改修工事に依り永  
久にこの美姿を没せしむ

となり耕地整理委員全消  
防組員在郷軍人分會等諸  
氏奔走盡力したる結果永  
遠に忘るべからざる日露  
戰記念に最も關係深き  
凱旋軍人の手に依り植樹  
せし好個の記念木にして  
爾來町民は協力これが警  
護に努めその成木を樂し  
みつゝ今日に至れるもの  
にして等繁の桟枝を抱擁  
ケル市は長蛇の如く蜒  
々十數町に亘り然も枝梢  
に蓋らるゝ一刷の淡は艶は艶  
姿を描いて流れに反映する  
情説實に形容に辭なく縣  
婉然一軸の彩畫の如く縣  
下に燎爛を誇る松ヶ岡公  
園の櫻樹と相呼應して平  
町の風致は一層その雅趣  
を高めこれがため遠く枝  
を曳いて訪ぶる花客織る  
が如きものあり洵に平町  
永遠を惟ふ時等閑し得ざ  
る唯二無二の櫻樹たり今  
後多いて益々これを警護  
培養に努力せば之れが遠  
因となり平町繁榮發達は  
實に當然の歸趨たる今更  
言を俟たざるべし然るに  
我々三萬町民に執りて最  
も必須缺へからざるこの  
櫻樹を改修工事に依り永  
久にこの美姿を没せしむ



入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

藤沼醫院

内科、小兒科、花柳病科

消費節約

品質品位家庭染料

みやこ染

平町一丁目 特約店

大平屋藥店

電六四二番

券商の井三  
店服吳井三

な利便て貰重て貰

特約店 海老屋商店

◎はかり賣り致します



ガキンソウス

チキンソースは  
よく消化を助け  
食欲を増進  
せしむ

一滴の

チキンソースは  
よく消化を助け  
食欲を増進  
せしむ

皆様の

昭和タクシード

此際御得意様本位に

貸切料金の値下断行

何卒御用命を

平驛前

電三三四三番

冬の通學服

断然特賣の超尖端

小學生用

特製品……95錢ヨリ

極上品……1・40錢ヨリ

中學生用

特製品……1・70錢ヨリ

極上品……2・50錢ヨリ

荒井吟釀

平町田町 電話三三五番

東京本所林町

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

久能木式石油コンロ

▲燃料經濟日本一

▲今が需要最好期

部分品附屬品修理修繕 御一報次第實物持參

平町

城山

吉田藥舗

まつやの生菓子

毎度御引立に預り難有御禮申上げます

季節も涼しくなりましたので松屋でもいろいろの美味い生菓子を始めました。茶話會や御集合の際に

美味と原料精撰と…衛生と…勉強とモット

ーとしてある松屋の生菓子を！

祝儀 引菓子折 其の他別説の品も精々勉強致し  
佛事用 ますから多少に不拘御買上げ下さいませ  
配達致します

△電話にての御注文は遠近によらずおいくらでも早速

平町長橋 松屋 電話五一二二番

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産婦人科院長木村寅次郎

整形外科醫學士松永憲一  
女醫木村コウ

薬局

東京

藥學士

萩原駿二

二